

京都・長岡京跡

ながおかきょう

1 所在地 京都府向日市森本町高田

2 調査期間 左京第五〇一次調査 二〇〇四年(平16) 一〇月
一二月

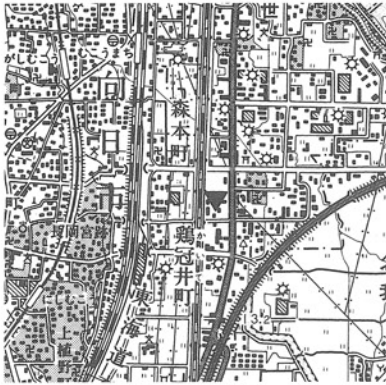
3 発掘機関 (財)向日市埋蔵文化財センター

4 調査担当者 山口 均

5 遺跡の種類 都城跡

6 遺跡の年代 縄文時代～中世(長岡京期(七八四年～七九四年)
が主体)

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(京都西南部)

調査地は、長岡京跡左京
一条三坊四町・一条大路に
あたり、標高一四・六～一
四・八mの氾濫原に位置す
る。

調査の結果、縄文時代か
ら中世にいたる遺構を検出
した。長岡京期のものには、
一条大路北側溝、柵一条、

掘立柱建物二棟がある。

一条大路北側溝SD五〇一〇三は、幅約一・三m深さ約〇・二m
で、遺物は土器類が少ないのに対し、削屑や植物残滓が多く出土し
た。調査地西側の左京第四四〇次調査成果にみる厨房施設との関連
が考えられる。また、出土した遺物のなかには漆の付着した須恵器
杯や樺皮(桜の樹皮)などが含まれており、工房的様相が窺われる。
木簡は、一条大路北側溝SD五〇一〇三埋土の洗浄により、一八
点(うち削屑一七点)が採集されたが、いずれも釈読できない。ここ
では文字数のわかる二点を紹介する。

8 木簡の釈文・内容

(1) ☐ (49)×(8)×2 081

(2) ☐ ☐ ☐ 001

9 関係文献

向日市教育委員会・(財)向日市埋蔵文化財センター『長岡京跡は
か』(向日市埋蔵文化財調査報告書六八、二〇〇五年)

(山口 均、釈文 佐藤直子)